

2019

ぶうげん
びりあ

10

月号

No.313

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

協働する力

副校長 中岡 理和

4年前、ラグビーで起こった「奇跡」を覚えているでしょうか？

現在、日本でラグビーのワールドカップが開催されています。4年前の南アフリカ撃破は世界に衝撃を与え「奇跡」と称されました。今大会でも開催国として4年前以上の活躍を期待せずにいられません。ある日本代表選手の言葉です。「僕らは体重が軽く、1対1になると負ける。コミュニケーションを取って2人で働きかけないと」戦術眼と伝達力が鍵になると言います。

「伝達力」と「コミュニケーション」。この点でいえば学校の職場でも大切だと感じることがあります。今や、「チーム学校」とよく耳にするようになりました。端的に言えば組織力を強化し対応していくことです。学校を取り巻く様々な課題の中には、個で対応しきれないものも多くあります。そこで当然、組織としての対応が必要となります。「チーム学校」と大きく掲げなくてもうまくいっている学校は連絡がスムーズに行き届いて組織として機能しているのがよくわかります。「協働」の意識、「1人で働いているのではなくみんなで協力して働いている」というのがあるからです。これは学校に限らず、成功している企業や組織に必要なものではないでしょうか。そして当然、企業や組織が求める人材の必要条件となってきます。

2021年から大学入試も変わっていきます。「主体性・多様性・協働性」を問われる問題への移行が進められているようです。解決すべき課題を発見する力や、学び続ける強い意志、協働により課題解決の道すじを切り拓く力の育成が重要視されています。2020年に新学習指導要領が施行されます。そこにはこれまでの「知識・技能」や「思考・判断力・表現力」だけでなく「学びに向かう力・人間性等」の育成が加わります。その資質・能力の中に「多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力」が明記されています。

母島小・中学校は全校児童生徒数41人の小規模校です。「協働する力」の育成に不利なのではと考える方もいるのではないのでしょうか。本校では平島移動教室をはじめ小・中学校ともに様々な校外学習が行われています。その活動の中で児童生徒は普段気付かない不便さに気付き、様々な課題に直面することになります。そしてその課題について皆で考え解決していきます。このような過程の中でこそ「主体性・多様性・協働性」が育まれていくのではないのでしょうか。

学校も地域との連携や協働の中で子供たちの力を育成することが必要とされています。本校の数々の校外学習は地域の方々のご協力のもと実現できています。今年度の平島への校外学習では天候に悩まされる中、多大なるご支援ご協力をいただきました。改めて感謝を申し上げます。

中学3年生は毎年9月に、理科の学習として石門の校外学習へ赴きます。今年は晴天とまではいきませんでした。雨の後で湿り気が多く、湿気が多い母島の環境の中で進化した生物を観察するのにとても適した石門日和となりました。ガイドの方に説明を受けて入林し、歩く途中で見つけた生物について、様々な話を伺いました。母島固有の生物の特徴だけでなく、例えばオオタニワタリが生えている場所が父島と違うことや、昔木こりが大量に伐採して現存が少ないオガサワラグワの話など、母島の環境や歴史にも触れて学習をすることができ、身を乗り出して生物を観察したり、疑問に思ったことを質問したり、生徒の積極的に取り組む姿が見られました。石門の奥まで足を踏み入れることが初めて、と話していた3人は、校外学習が終わった後に「キノコが沢山生えていて興味深かった。」「沢山貴重な場所に行くことができたのがよかった。」「今回知ったことを事後学習でまとめたい。島の外から来る人にも発信できるようになりたい。」と感想を述べていました。

父島で学ぶこと 父島を楽しむこと

9月17日から19日にかけて、6年生は予定通り、父島移動教室に行くことができました。移動教室に先駆けて、児童4人と目標を立てました。そのひとつに、「働くということについて考える」というものがあります。父島には、母島に無い仕事もたくさんあります。今回の移動教室では、気象観測所や国立天文台、水産センター、世界遺産センター、環境を生かした観光業などの方々と関わる機会に恵まれました。「一番大変なことは何ですか。」「特に意識していることは何ですか。」など、積極的な質問が飛びました。児童はめいめいに、働くことに対して思いを巡らせている様子でした。もちろん、楽しい思い出もたくさんできました。南島に上陸し、扇池では台風が去った後の荒波に揉まれました。帰ってきてから自分たちの写真を見て「何時間でも続けていられたよね。」「ああ、このころに戻りたい。」と、遠い昔を懐かしむかのようにつぶやいていました。国立天文台では、巨大な電波望遠鏡を実際に動かす体験をさせてもらいました。自分の命令した操作で動く望遠鏡を見つめ、普段はなかなか見られないようなうっとりとした表情を浮かべていました。かなり過密なスケジュールでしたが、その分内容もぎっしりと詰まった2泊3日。4人の小学校生活も終わりが見えてきた今日この頃、今回の経験を糧として、さらなる成長を重ねていってほしいです。

当初、6月に予定していた、向島・平島校外学習でしたが、波が高く、島に船がつけられないということで、9月に延期になりました。9月になり、今度は台風の余波で残念ながら中止ということになりました。しかし、何よりも児童の命を優先して考えてくださり、何回も海の様子を確かめてくださった神徳丸のみなさまには、感謝の気持ちでいっぱいです。

向島・平島へは上陸できませんでしたが、この校外学習に向けていろいろな準備をしました。

6月には、都のレンジャーさんから属島でのルールや様子についてお話を聞きました。一番大事なのは、生き物の持ち込みや、持ち出しに注意しよう、ということです。向島・平島でも外来種が繁殖しているとのことでした。外来種は、新しい土地で生き抜く力をもったものが多いということ学びました。

また、シュノーケリングの講習も、脇浜のなぎさ公園で行いました。フィンがはずれたときにパニックにならないように、ひとつフィンをはずして泳ぐということも行いました。

20日（金）は、お昼御飯用に用意しておいたカレーの材料を調理しました。前日5年生が切っておいた、玉ねぎ、じゃがいも、にんじん、ソーセージを炒めて、煮込みました。みんなで順番に調理し、おいしくできあがりしました。楽しく会食することができました。

やっと上陸、平島移動教室

先月19日（木）、中学校1年生は平島移動教室に行ってきました。本来ならば6月に1泊で行う宿泊行事でしたが、相次ぐ荒天荒波などの影響で延びに延び、最終的に宿泊なしの短縮日程での実施となってしまいました。その点は残念でしたが、できることが限られた中で最大限学習をしたり、体験をさせていただいたり、貴重な1日とすることができました。

当日は、母島を出発し、まずは漁業体験をさせていただきました。船酔いと闘いながらの生徒もいましたが、中には高級魚を釣り上げる生徒もあり、盛り上がりを見せました。また、漁師さん達でも通称しかわからない魚も釣れ、事後学習で正式名を調べるという課題も与えていただきました。

平島に上陸し、続いて生物調査をしました。事前に学習していた小笠原の生物が、実際にいるかいないか、またどんなところに生息しているかなどを調査しました。その後昼食の時間も平島でとり、短い時間でしたが平島の自然を肌で感じるすることができました。

平島を離れた後はアナダイの根付近でシュノーケリング実習をしました。事前に講習を受けたもぐり方などを実践し、珊瑚や魚などを身近に観察することができました。

最後に、今回天候などにおいて不安定・不確定要素が多い中最大限準備をしてくださった神徳丸の方々、事前学習に協力をいただいたの方々、本当にありがとうございました。今後も学校の活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

10月の生活指導

生活目標

「自分から進んで働こう」

- ・周りの人に感謝しよう。
- ・力を合わせて仕事をしよう。
- ・社会に役立つ大切さを理解しよう。

安全指導 7日(月)

「刃物の取り扱いと道具の借用・返却について」

が、重点指導目標です。

今月は、学芸会に向けて道具を作るなど、刃物を使用する機会が増えます。先生に無断で使用することのないよう、ルールを守り安全に気を付けて使い、きちんと返却するよう指導を徹底します。

避難訓練 15日(火)

校内での火災発生を想定した避難訓練を行います。また、小学5、6年と中学生は初期消火体験も行います。

緊急時に落ち着いて、素早く身を守るための行動をとれること等、普段の訓練の成果を確認する機会とします。

平成31年度 学芸会

- ◆日時 11月2日(土) 開演8時45分
詳細につきましては、後日改めてお知らせいたします。

第2回読書週間

児童生徒の読書に対する意欲を高めるために読み聞かせや本の紹介など、様々な本にふれる機会を作ります。

◆日時 10月7日(月)～18日(金)

小中学生共通の読書カードに読んだ本を記録します。朝礼や集会のない朝に読書をする時間を設定します。また、10月16日(水)には全校イベントとして「ティーチャーズブックデイ」を行います。朝読書の時間に教員チームによる読み聞かせや本の紹介をします。

この期間にぜひご家庭でも読書に関する時間を持っていただきたいと考えています。ご協力よろしく願います。



手作りお弁当の日

◆日時 10月18日(金)

「手作りお弁当の日」をおこないます。

児童生徒が手作りのお弁当を自分で作ります。教員も参加してグループを作り中庭で一緒に食べます。

食への関心を高めること。いつもお弁当を作ってくれる人への感謝の気持ちを育てます。

10月の主な行事予定

1	火	都民の日	16	水	デザートの日	SC在島
2	水	中間考査1(中)	17	木	学校運営連絡協議会	
3	木	中間考査2(中)	18	金	手づくりお弁当の日(全) 漢字検定 読書週間(終)	
4	金	北村校外学習(小4) 生徒総会(中) 減塩教室(中1,2) 英検	19	土		
5	土		20	日		
6	日		21	月	小朝礼(ユネスコ)・中朝礼	
7	月	朝礼(安全指導) 読書週間(始)	22	火	即位礼正殿の儀	
8	火	P T A陶芸教室(成形)	23	水		
9	水	P T A陶芸教室(成形)	24	木		
10	木		25	金		
11	金	北村校外学習予備日(小4)	26	土		
12	土		27	日		
13	日		28	月		
14	月	体育の日	29	火		
15	火	朝礼(保健指導) 避難訓練	30	水		
			31	木		